

2014年
3月1日

No.184

さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

近畿地協2014春闘学習会

支持される要求でみんなに響くたたかいを

2月15日から16日にかけて、大津市のアヤハレークサイドホテルで、近畿地協2014春闘学習会が開かれ、近畿各地や北陸から山陰までの各地から43人が集まりました。さざなみネットから山崎書記長と岩波分会委員が参加しました。

(日程下記)

岡野議長はあいさつで「大企業は好決算をあげているが、働く仲間は生活必需品が上がり、4月から消費税増税が追い討ちをかける。アベノミクスのため安倍政権が財界へ賃上げを要請するというかってない情勢であるが、たたかいがなければ、上がってもベアでなく、一部の正行員だけ人事考課で差をつけた臨給などでお茶を濁すことになってしまう。生計費原則にそった賃上げ要求により根拠を示し、支持される要求でみんなに響くたたかいをするため、今日はしっかり学び、春闘をたたかう材料を持ち帰ってほしい」と訴えました。

続いて、全労連の伊藤調査局長が「2014春闘をめぐる情勢 労働組合の役割・課題」と題し、「アベノミクスで、日本の経済・経営・雇用・労働条件は、よくなった?」「低賃金層が増え、平均賃金は下落」「正規雇用は減少し、非正規は増加」「物価動向を考慮しても、日本だけ賃下げ」



あいさつする岡野議長

「イギリスの最低賃金(全国一律)の推移、定額からスタートし着々と改善～イギリスの経験に学ぶべし」など分かりやすい資料をもとに、動けば、情勢を変えられること、政府も「賃上げ必要」論や「内部留保活用」論を言わざるをえないようになってきたこと、このチャンスを活かし、春闘をやろう!という気持ちになることが必要なことなど具体的な事例をあげて語られました。(講演のレジュメ概要次ページ)

特別報告で、不当な懲戒処分をされたり、解雇された仲間からの訴えがあり、分散会では厳しい職場の実態が話され、労働組合の必要性、仲間の連帯の大事さ、闘うことの重要性を再認識する学習会となりました。



白梅 岩波 美智子さん 画

2014年春闘学習会 日程

15日(土)

・開会・議長挨拶

・講演「14春闘をめぐる情勢

労働組合の役割・課題」

講師 伊藤圭一 全労連調査局長

・特別報告

「懲戒処分攻撃とのたたかい」

(京都北都信金従組の仲間)

「不当解雇撤回闘争支援」の訴え

(武生信金職組の仲間)

・問題提起・分散会・交流会

16日(日)

・分散会・全体会議・まとめ・閉会

参加者の感想

賃上げで自信・元氣を取戻そう

- 講演の報告レジュメには、グラフや表が多く添付されていて、分かりやすかった。労働者派遣法の内容について詳しく話をされました。雇用改革で「多様な正社員」の普及・拡大で、限定正社員などができる大変。何としても阻止しなければと思いました。

分散会では、「ひどい時代が続いてきたが、終わり始めたな・・・。本当の労働組合を求めているのではないか」という言葉が印象的でした。

- 今春闘は、がんばればベアが取れるチャンス的情勢だということがよくわかりました。長年賃上げがなく、賃金が上がる経験のない仲間が多く、経営環境が厳しいとの誇大宣伝・営業推進やいろんな目標達成ため、毎日長時間労働と精

神的な疲労で賃上げを考える元氣が出ない職場環境ですが、今まで財界に思うようにされてきました。

その上「雇用改革」という大きな攻撃をされています。何としても、今春闘で、全部の仲間に及ぶ賃上げを勝ち取り、自信や元氣を取り戻せるように頑張りたいと思いました。



講演する伊藤全労連調査局長

講演レジュメ（項目のみ）

2014春闘 情勢と労働組合の役割・課題

たたかいとろう 許すな 雇用・くらし破壊の暴走政治
 大幅賃上げ、くいとめよう 憲法改悪

春闘・賃金闘争について

- 1、「賃上げ」「ベア」を国是にさせた
 ～私たちの運動の成果！
 ※動けば、情勢を変えられる

2、アベノミクス2014春闘

- (1) 労働界も「賃上げ」で足並み揃える
 ～運動の反映
- (2) 財界も姿勢を変えた？
- (3) ただし、個別企業の姿勢は？
 アベノミクスの実態は？
 - ①大企業優遇でも賃上げは？
 - ②口ほどにもないアベノミクスの「経済好転」
 - ③アベノミクスは、どう考えても賃金低下をもたらす
- (4) 2014春闘・賃金闘争の構え
 ピンチとチャンス
 - ①政府も「賃上げ必要」論、「内部留保活用」論を言わざるを得ない「賃上げは正しい」
 - ②賃下げ分を取戻し、インフレに備える
 - ③ところが、職場の仲間の声は？
 ・・・・状況厳しい・・・。賃金闘争の構えと勝ち筋をどう描く？

3、職場の賃金闘争を強化するために

- (1) 執行部のモチベーション・アップを
- (2) 職場で声をあげてもらおうための工夫を
- (3) 「生計費」の視点の強化を

- (4) 自分の賃金を知らせ、仲間の賃金を知る
 ～賃金プロットの活用を
- (5) 賃金格差の是正を重視
- (6) 統一闘争への結集とストライキ権行使を
- (7) 法定最低賃金や公契約適正化などの制度的賃金闘争を強化する
- (8) 賃上げが可能となる環境づくりを
- (9) 宣伝（訴えかけ）・対話・組織拡大

4、労働法制など、制度改悪を止め、政治の流れを転換させるために

- (1) 地方の政党事務所・議員事務所への要請行動を
- (2) 全労連、各産別の署名をしっかりと

おわりに

補論 改憲先取り！ 安倍暴走政治について

- (1) 外交・平和
- (2) 教育
- (3) 社会保障
- (4) 税制
- (5) 経済・アベノミクス
- (6) 雇用改革

2. 政治情勢をどう見るか？

安倍政権の危険さと揺らぎ「終わりの始まり」

